

平成25年度事業計画・予算を承認

～第5回理事会を開催しました～

3月21日、徳島市のあわぎんホールにおいて、運営委員会及び理事会を開催しました。運営委員会は公益財団法人への移行に伴い、少数制となった理事会や評議員会とは別に、多くの会員の意見を聴取する機関として昨年度設けられたもので、今回が2回目の開催となりました。

はじめに事務局から、昨年度の提案内容についての県老連のその後の対応を報告、「シルバー大学生との連携」については、県の担当課に対し、シルバー大学生が地域の活動へ参画するためにも、老人クラブへの入会を勧めてほしいとする要望書を提出したこと、「単位クラブの活性化」については、やる気のあるクラブへの助成制度や各クラブの自慢の活動を収集、紹介するなどを柱とした新たな取り組み「単位クラブ活性化推進運動」を提唱したことなどを報告しました。



また、事前のアンケート調査では、一般会員間の親睦を図る会（懇親会、旅行等）を実施してはどうか、各市町村老連間の横の連携を取ることが大切である、組織の強化に向けては有言実行できるやる気のある人が必要であるといった提言・意見がありました。

今回の運営委員会ではグループ討議を採用、「補助金の状況」「会員が楽しみにしている活動」をテーマに熱心に意見交換がされました。各グループでまとめられた意見等は下記のとおり（抜粋）。

（補助金の状況について）

- ・報告の際の写真や領収書の提出等、手間がかかる上、事務処理の苦手な方も多い。
- ・財政が厳しい中であるが、前年並みの予算を確保している。

（楽しみにしている、加入につながっている活動）

- ・月1回の食事会や花見、月見会、日帰り旅行等
- ・ミニサロン集会を月1回行い、ワナゲやおじやみ等で楽しんでいる
- ・町老連で愛称、キャラクターを取り入れてイメージの払拭を図った。
- ・ビギナーズを対象としたグラウンドゴルフで会員増につながっている。
- ・婦人会とのカラーリング大会を実施して加入につなげる
- ・月1回の健康体操が好評を博し、次年度も開催してほしいとの要望がある
- ・会員全員を対象に毎月の定例会を利用してインドアペタンクを実施、口コミで広がり徐々にではあるが会員も増えている。



午後からは、理事会を開催、平成25年度の事業計画及び予算をはじめとする諸議題について審議、原案とおり承認されました。

事業計画では、魅力あるクラブづくりに努めながら、組織の強化を図り、いままでもそしてこれからも地域を支え続ける、老人クラブであり続けられるよう努力するとの基本方針のもと、加入促進をはじめとして、全国三大運動や地域活動の推進、リーダーの養成等を重点に各種事業に取り組むことにしています。



特に、昨年度新たに提唱した「単位クラブ活性化推進運動」の強化・推進や第7期目となる介護予防リーダーの養成、自殺予防を主観とした社会参加促進事業、本県で開催される四国老人クラブ大会などの主要事業で成果をあげていきたいとしました。

※平成25年度の詳しい事業計画、予算の詳細は

トップページのメニューボタン

(徳島県老連について) → (情報公開) と進んでください。